

第3回 熊本県 中九州横断道路事業調整会議 議事概要

1. 日 時 令和7年2月26日(水) 15:00～
2. 場 所 国土交通省 熊本河川国道事務所 会議室
3. 出席者
国土交通省 九州地方整備局 道路部 道路計画第一課長
国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所長
熊本県 土木部長
熊本市 都市建設局長
(オブザーバー)
西日本高速道路株式会社 九州支社 総務企画部 企画調整課長
西日本高速道路株式会社 九州支社 熊本高速道路事務所長

4. 議事概要

○事業中区間の状況

- ・熊本県内における中九州横断道路については、令和6年度は、竹田阿蘇道路の熊本県側において、用地買収や橋梁下部工工事を推進、滝室坂道路において、令和8年度の開通を目指し改良工事やトンネル工事等を推進、大津熊本道路(大津西～合志)において、調査設計を推進、用地買収に着手、大津熊本道路(合志～熊本)において、用地買収や橋梁下部工工事を推進している。
- ・今年度より新たに事業に着手した大津道路については、調査設計を推進している。令和7年1月19日に中心杭打ち式を開催。
- ・現在、熊本県においては、企業集積エリア周辺の道路整備を全力で進めており、特に合志ICアクセス道路については、R10年度を目標に事業を進めている。
- ・中九州横断道路沿線では、世界的半導体企業であるTSMC社関連の第一工場が本格稼働、第二工場についても敷地造成工事が進められるなど半導体関連企業の集積が進む一方、通勤バスの実証実験・時差出勤等に取り組んでいるが、交通状況は依然として悪く、中九州横断道路の早期整備が求められている。

○熊本県、熊本市からの要望・提案

- ・熊本都市圏の円滑な人流・物流機能を確保する観点から、熊本環状連絡道路についても大津熊本道路の供用に遅れることがないよう早期事業化に特段の配慮をお願いする。
- ・中九州横断道路の早期整備が必要であり、特に大津西～下硯川について、接続する九州縦貫自動車道と同水準の管理水準・料金水準で有料道路事業を導入していただくよう提案する。
- ・有料道路制度の導入については、熊本県と熊本市で協力し、県民・市民の理解促進に向けた対応を実施する。
- ・また、中九州横断道路の一日も早い全線供用に向け、有料道路制度導入に伴う都市計画手続き等、地元自治体などと連携し、取り組んでいく。

○今後の進め方

- ・国と熊本県・熊本市で情報共有を図りつつ、引き続き早期開通に向け事業を推進する。
- ・熊本県、熊本市からの提案を踏まえ、国が有料道路事業を前提に計画の検討を進める。
- ・熊本県と熊本市で協力し、有料道路制度の導入に向け県民・市民の理解促進に向けた対応を実施するとともに、必要な手続きに取り組んでいく。